**第11章　運輸及び通信**

**道路**

　昭和61年４月１日現在の府下の道路の実延長は、１万6613.5 kmで国道516.5 km  （3.1％）、府道1643.5 km（9.9％）、市町村道1万4453.4km（87.0％）となっている。  
　道路の実延長のうち舗装道延長は１万4938. 6kmで前年より143.4 km増加し、実延長に占める舗装道の割合は89.9％となり、前年（88. 8%）より1.1ポイント上昇した。  
　また、舗装道の割合をみると、国道100.0％、府道98.4％、市町村道88.6％となっている。  
　次に、橋りょう数（橋長15m以上）は874か所で前年より10か所増加し、５年前と比べると121か所増加している。

**鉄軌道**

　昭和61年度の府下における国鉄の乗車人員の合計は８億101万5637人で前年度に比べ1421万2785人（1.8％）増加しており、１日平均乗車人員は219万4563人となった。  
　また、乗車人員のうち定期利用者は５億2657万3381人で全体の65.7％を占めている。  
　次に、昭和61年中の府下における私鉄９社の１日平均乗車人員の合計は446万5438人で、そのうち定期利用者は297万8322人（66.1%）であった。  
　次に、昭和61年度の地下鉄の乗車人員の合計は８億7470万4000人で、前年度に比べ657万6000人（0.8％）増加しており、１日平均乗車人員は239万6449人となった。

**自動車**

　昭和61年度末現在の府下の自動車保有台数は、278万1368台で、前年度に比べ10万7363台（4.0％）増加した。  
　最も多く増加したのは軽自動車で、前年に比べ５万1133台増加しており、次いで乗用車の４万8327台であった。また、トラックは前年に比べ1182台の増加であった。  
　自動車１台当たりの人口は3.1人、世帯数では1.0世帯となった。  
　また、自家用乗用車は144万7586台となり全体の52.0％を占め、府民6.0人に１台（5年前は7.2人に１台）、2.0世帯に１台保有していることになる。

**航空輸送**

　昭和61年中における大阪国際空港の旅客、貨物数をみると、旅客数は1769万3000人で前年に比べ1.4％増加、貨物数量は31万9103 t で前年に比べ11.9％増加した。  
　これを国内線、国際線別にみると、旅客数は国内線が1404万1000人で前年に比べ６万8000人（0.5％）と僅かな増加であったが、国際線では365万2000人で前年に比べ17万3000人（5.0％）の大幅な増加となった。  
　また、貨物数量は国内線で16万6005 t で前年に比べ6.5％増加し、国際線では15万3100 t で前年に比べ18.3％増と航空輸送は全般的に堅実な伸びを示した。

**通信**

　昭和61年度における府下各郵便局の引受内国郵便物数の状況をみると、通常総数（小包を除く）は15億3297万9000通となり、前年度に比べ3.7％増加し５年連続の増加となった。  
　次に、昭和60年度末における府下全域の加入電話総数は、367万9000台で前年度に比べ2.6％増加した。  
　そのうち事務用は124万5000台で住宅用は243万4000台と前年度に比べそれぞれ1.6％、3.0%増加した。  
　この結果、住宅用加入電話は、1.2世帯に１台の割合となっている。